

6年生

「AB組 ともに生きていく」

9/30

WED

CDE組の担任の先生がAB組の児童対象に行う道徳の授業がありました。自分とは違う個性をもった他者、障がいのある人の理解が主なテーマとなります。また武蔵野東小学校には様々な個性をもったCDE組の友だちが身近にいて一緒に活動していますから「具体的な関わり方」や「思いやり」に関する内容が展開されています。

今回のテーマは「心と心が通じた瞬間」というテーマで人との関わり方や相手に興味を持ってみる大切さなどを振り返り、積極的な行動について意見を児童に聞きました。体育祭の学年競技を通じた実際の関わりの中から、競技練習がうまくいった事や自分たちが工夫してきた点など、自分たちの経験事例を通して話し合いました。更には東小学校を卒業した先輩が書いた作文から相手の気持ちにたって行動する大切さを共有しました。

さあ、これから残りの小学校生活を自分ならどのように過ごしていくのか。中学生になっても混合教育で学んだ心をもって生活していく大切さ。そんな事を一人ひとりが感じながら過ごす時間となりました。



スマートライフ
を意識した
新しい学校生活

